

# メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.248 2018.8.24

## 県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」 8月19日(日曜日)放送「各会派代表者に聞く1」

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」(テレ玉)では、各定例会の様様や各会派代表者のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、8月19日(日曜日)に放送した「各会派代表者に聞く1」の内容をお伝えします。

次回は、あさって8月26日(日曜日)の午前10時から、「各会派代表者に聞く2」を放送予定です。

プレゼントコーナーもありますので、ぜひご覧ください。

こんにちは  
県議会です  
各会派代表者に聞く①

[☆放送スケジュールなどは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

### INDEX



#### 県議会広報

こんにちは県議会です「各会派代表者に聞く1」

- ・自民 小島信昭 団長
- ・立憲・国民・無所属 浅野目義英 代表



#### 議事堂の花

生け花のご紹介



### 県議会広報

【こんにちは県議会です「各会派代表者に聞く1」】

◆埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭 団長◆

南第12区さいたま市岩槻区選出  
 平成12年 埼玉県議会議員に初当選(現在5期目)  
 平成24年 第114代埼玉県議会議長  
 平成29年3月 埼玉県議会自由民主党議員団の団長に就任

—はじめに、ごあいさつをお願いします。—

**団長** こんにちは。埼玉県議会自由民主党議員団、団長の小島信昭です。

県民の皆さまには、わが党に対して、日ごろから多大なご支援とご支持を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たち自由民主党議員団は、県民の皆さまのご要望を実現し、皆さまが安心して暮らせるより良い埼玉県となるよう、全身全霊で取り組んでおります。どうぞよろしく願いいたします。



—今年度、会派として、どのような点に重きを置いて取り組まれているのでしょうか。—

**団長** 大きく変化していく未来を見据えた埼玉づくりを果敢に進めることです。

今、私たちは、人口減少や超高齢社会の到来など、今までに経験したことがない大きな社会構造の変化に直面しております。

一方、本県ではこの数年間、圏央道や新幹線の開通により交通の利便性が一段と高まりました。さらに、来年にはラグビーワールドカップ2019、再来年には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。暗い話題が先行しがちですが、埼玉には夢があふれています。夢や希望を次の世代に引き継いでいけるよう、未来を見据えて、課題解決の方向性をしっかりと示すことが重要である、そのように考えております。

—未来を見据えた埼玉づくり、ですね。具体的にはどのようなことに取り組んでいるのですか。—

**団長** まずは、経済の好循環を生み出すことです。生産年齢人口の減少により労働力が不足していく中、「超スマート社会」の実現に向けた取り組みを進める必要があります。わが党では、全国に先駆けてこれを実現すべく、県西部地域にIoTやAIなどの未来産業を集積させることにより、県全域へ最大限の経済波及効果を生み出すグランドデザインを提案いたしました。また、企業や働く人の視点に立った「働き方改革」を進めるなど、生産性の向上を図ってまいります。

—生産性の向上のためには、未来の埼玉を担う人材の育成も大切ですね。—

**団長** その通りです。これまでも私立高校の授業料の父母負担軽減など、子育て支援にも力を入れて取り組んでまいりました。すべての子どもたちが将来に夢を持ち、生き生きと輝ける社会をつくることは、私たちの責務だと思っております。



—ほかに力を入れて取り組んでいきたい分野はありますか。—

**団長** 全国でもトップクラスのスピードで高齢化が進む本県にとって、医療や福祉の充実は欠かすことができません。私たち自民党県議団の働き掛けで実現した順天堂大学医学部附属病院の建設を着実に促進し、医療体制の整備を進めます。また、待機児童の解消も喫緊の課題です。保育の受け皿を整備するなど、子育てしやすい環境づくりに引き続き取り組んでまいります。

—いつまでも健康で安心して暮らすことは、県民誰もが望んでいることですね。—

**団長** 医療や福祉を支える看護師や介護士、保育士の果たす役割はますます大きくなります。人材の確保や育成のため、処遇改善を進めるとともに、潜在資格者の復職支援を行っていきます。今後も、県民の皆さまが安心して暮らすことのできる埼玉県の構築に力を尽くしてまいります。

—最後に、団長としての抱負をお聞かせください。—

**団長** 私たち自由民主党議員団は、県議会最大会派として県の政策決定に大きな責任を担っています。県民の皆さまのご意見やご要望をしっかりと受け止め、埼玉の輝く未来の実現に向けて、団員一丸となって取り組んでまいります。

#### ◆立憲・国民・無所属の会 浅野目義英 代表◆

南第9区さいたま市浦和区選出  
平成19年 埼玉県議会議員に初当選(現在3期目)  
平成28年4月 民進党・無所属の会(現:立憲・国民・無所属の会)の代表に就任

—はじめに、ごあいさつをお願いいたします。—

**代表** 県民の皆さま、こんにちは。厳しい暑さが続きますがいかがお過ごしでしょうか。立憲・国民・無所属の会代表の浅野目義英です。

所属議員は9名で、県議会では第2会派となります。

昨年のこの時期には13名のメンバーでしたが、3人が総選挙に、1人が市長選挙に挑戦し県議会から離れ、現在の数になりました。

私たちはそれぞれ、会社員、国会議員秘書、教員など、実社会でさまざまな経験を経て、県議会議員となり仕事をさせていただいています。現場の様子や声を知っていることは、政治の世界では最も重要なことだと思います。

また、9名のうち4名が女性です。仲間の中に、出産・育児・介護・看取りなどを経験した者がいます。多様な人材が集まっていることがわが会派の大きな特長ではないでしょうか。



—今年度、重視している県政の分野について、会派のお考えをお聞かせください。—

代表 何をおいても健康で幸福な長寿社会を実現することが、私たちが考える重要課題の一つです。

超高齢社会を迎え、長寿の内容と質も問われることになります。

毎日を健康で生き生きと暮らせる「健康長寿」。さらに良い人間関係で結ばれた「幸福長寿」が求められていくはずです。

この二つの長寿の実現のための政策を重視しなければと考えています。

埼玉県・県国保団体連合会・県医師会などが連携して進めている、糖尿病をはじめとする生活習慣病の重症化予防対策は、政府も高く評価している優れた政策であり、加速させるべきです。

また、ビッグデータ・AIといった技術革新を活用した、新しい健康・医療・介護システム、アプリの開発なども積極的に支援し、普及させなければなりません。ウォーキングや特定健診の受診などでポイントをためる、「埼玉県コバトン健康マイレージ」の運用を全県に発展させる必要も感じています。

地域で営まれているコミュニティの深化も、かなり重要であると考えています。

—今年度、会派として取り組むべき県政の重要課題についてお考えをお聞かせください。—

代表 6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨災害など、災害が多発しています。命と財産を守るため、ハード面・ソフト面双方において災害への備えの施策を強力に進めなければなりません。

また、本県では年収300万円以下の世帯が30%と、この20年で12.7%増加しています。貧困の連鎖を背負う子どものサポートなど、格差是正の力を県が十分発揮できないのか。工夫と挑戦をしていかなければなりません。

そのほかにも、結婚、出産、子育ての希望を実現できる社会、成長を生み出す新たな産業の振興、多様性のある社会、これらの実現のための施策にも意を配していきます。

—代表から見た時代の認識をお聞かせください。—

代表 「人間を幸せにするものは何か」を75年間にわたり研究した、ハーバード大学のロバート・ウォールディング教授はこう言っています。「一生を通し、自分を幸福で健康にするのは、名声や富。そう考える人は多くいます。しかし75年にわたる膨大なデータを見ていると、真の幸せと満足感と健康を感じている人は、良い人間関係を持っていたのです」。



日本の人口が1億人になったのが1967年でした。この時に65歳以上の方は7%。2060年頃には65歳以上の方は40%で4,000万人と、わが国の人口構造は激しく変容します。

新しい時代では、長寿は手に入れられそうですが、「健康長寿」に加えて「幸福長寿」でなければならない。先ほど、私が語った理由です。

—6月定例会で提出された「要望書」についてお聞かせください。—

代表 会派として3件の要望書を知事に提出しました。児童虐待防止への真剣な対応やオスプレイの県内飛行に関する説明、LGBTが差別を受けることのないよう取り組みを進めることを求めました。また、上田知事が全

国知事会長に就任したことを受けて提出された「全国知事会の認識を問う決議」は、不干渉であるべきと強く反対しました。

—最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

代表「五箇条の御誓文」には、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」と筆頭に書かれています。約150年前、明治新政府が、わが国の政治の基本指針を示し、また立憲政治の実現を公約したものです。「民意を広く集めて会議する」という原点が、政治の基本であると思っています。

さまざまな困難に立ち止まらず、県民の利益になっているか否かを常に第一に考え、自分たちの考えを意思表示する場が、議会であると思っています。そのことを強く自覚しながら仕事をするを誓いたいと思います。

[▲トップへ](#)

## ❁ 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂の玄関ホールに飾られた生け花をご紹介します。

### 【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：  
7月23日  
～7月27日  
作者：  
桂古流  
新藤華盛様  
花材：  
孔雀檜葉(ク  
ジャクヒバ)、  
大谷渡(オオタ  
ニワタリ)



展示期間：  
7月30日  
～8月3日  
作者：  
桂古流・桂流  
杉田 康様  
花材：  
ユキヤナギ、  
スプレーカー  
ネーション、鉄  
砲百合

### ◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇

#### 【Part1】



〈桂古流 新藤華盛様〉

Q: 今回の作品のポイントを教えてください。

A: この作品は孔雀檜葉でつくられる大きい三角形と大谷渡でつくられる小さい三角形の二つで構成されています。さらに、全体をみると、また別の大きい三角形が浮かんできます。

Q: この作品では3という数が一つのテーマのように感じられますね。

A: 枝物だけでなく、花器を見てみてください。これは唐金(からかね)という花器ですが、3本脚になっています。ここにも3が登場し、花材と花器のテーマが統一された作品となります。

そもそも生け花は3のような奇数を好んで表現に用いる文化があります。そしてこの作品でも3という奇数が非対称の美を生み出しています。

### 【Part2】



〈桂古流・桂流 杉田 康様〉

Q: 今回の作品について教えてください。

A: この作品は「投げ入れ」の花です。投げ入れは剣山などを用いずに花瓶に花材を挿す方法で生けていきます。そのため、草花のつくられた表情というよりも自然さを見ることができるのです。この作品ではユキヤナギの枝に寄り添うように前傾の型で奥行きのある作品になっています。

Q: スプレーカーネーションというお花を使っているのですね。

A: 「スプレー」というのは1本の茎から複数の花が咲く様子を示しています。本来のカーネーションなどの花は1本の茎に対し1輪の花をつけるのですが、改良によって花が集まって咲く様子を楽しむことができます。カーネーションだけでなく、スプレー菊などもあり、それぞれ元の種とは違った魅力があります。

[☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会のホームページでご覧になれます。》](#)

[▲トップへ](#)

### 【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文

字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●「[メールマガジン埼玉県議会](#)」の登録・解除は[こちらから](#) 》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail [a6250-03@pref.saitama.lg.jp](mailto:a6250-03@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県議会議務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

Copyright 2008. Saitama Prefectural Assembly 無断転載を禁じます。

